



# 災害にも強い福祉のまちづくり

彦根市社会福祉協議会では、災害に対する意識の向上と防災・減災活動を通して、ふだんからの地域のつながりの大切さを考えていただくためのきっかけづくりとして、出前講座を実施しています。ぜひご活用ください。

高める意識！深まるつながり！

彦根市  
社協

## 防災出前講座

出前講座のお問い合わせ、  
お申込みは

社会福祉法人  
彦根市社会福祉協議会

TEL 0749-22-2821

FAX 0749-22-2841

ホームページ <http://www.hikone-shakyo.or.jp/>

- お電話又はFAXでご連絡ください。
- 内容については、ご相談に応じます。
- グループでお申し込みください。(彦根市内にお住まい、又はお勤めの方)
- 業務の都合により、ご希望の日時に出席できないことがありますので、ご了承ください。

身近な災害を知る。  
今、私たちにできること

形式  
座学

所要時間  
ご相談  
下さい。



近年、日本各地で大規模災害が頻発しています。  
平時から住民同士のつながりを強め、災害が起こっても、互いに支え合うことができる「福祉のまちづくり」について考えてみませんか？

## 防災(基礎)講座

自分にとって、  
大事なものは何だろう。。。

形式  
グループ  
で話し

所要時間  
約30分



避難する時、あなたなら何を持ち出しますか？

50枚のカードから、「自分にはこれが必要だ」と思う非常持ち出用品を考えてみましょう。

小学生から  
できます!!

## 非常持ち出し品はどれだ？

避難所にはどんな人が来るんだろう？

形式  
グループ  
で話し

所要時間  
1.5時間程度



災害時、避難所にはさまざまな人たちが避難してくることが予想されます。

みんなで話し合いながら「一人ひとりが大切にされる」避難所運営をゲーム形式で学んでみましょう。

避難所  
運営ゲーム **HUG**

あなたは「YES」？それとも「NO」？  
正解は「無し」

形式  
グループ  
で話し

所要時間  
約1時間  
(3問程度)

問題:あなたは食糧担当の。被災から数時間。避難所には30人が避難しているとの確かな情報が。現時点で確保できた食糧は200食。以降の見通しは、今のところなし。まず200食を配る？  
YES 配る or NO 配らない



災害現場ではさまざまな判断が求められ、その答えが1つではないことが多々あります。  
クロスロードは「分かれ道」を意味し、設問に対してどのような行動が必要かを参加者で考え共有します。

交流・啓発  
ゲーム **クロスロード**

見つめ直してみませんか。  
自分たちの「地域」

形式  
グループ  
で話し

所要時間  
複数回の  
実施



地域には災害発生時に必要不可欠な建物や場所など、さまざまな社会資源があります。  
福祉・防災マップづくりをとおして、社会資源を整理しながら、地域の「強み」や「弱み」を考えてみましょう。

## 福祉・防災マップづくり

災害時の「支え合い」を  
ゲーム形式で体験

形式  
全体コミュニ  
ケーション

所要時間  
約30分



災害時には、どのようなことに困るのでしょうか？  
コミュニケーションを通し、思い切って相手に助けを求め、互いに支え合うことの大切さを感じてみましょう。

## 災害時「助け」「助けられ」ゲーム